

## 熊本銀行が地域防災力強化に向けた連携協定 「移動式急速EV充電機を活用した 災害時連携に関する協定」を締結しました!

熊本銀行は、環境負荷の少ない燃料で稼働する移動式急速EV充電機「BME」を自社開発した株式会社未来樹(以下、未来樹)との連携協定を締結し、災害時にBMEを活用することで地域の防災力強化を目指します。

### 経緯と背景

熊本銀行は、地域のカーボンニュートラル実現を目指し、2023年7月から「油田プロジェクト」に参画しています。油田プロジェクトは、廃食油を収集し環境負荷の少ない良質な高純度バイオディーゼル(以下、BDF)に再生するプロジェクトで、熊本銀行では、役員家庭から出た廃食油を収集、提供する活動に取り組んでいます。

未来樹は、これまで油田プロジェクトの運営企業として積極的に取組みを進めながら、今回のBDFを燃料とする移動式急速EV充電機(以下、BME)の自社開発に至りました。BMEは100%BDFで発電し、平常時は電気自動車への充電を行います。また、災害発生時には被災地域に運搬し、通信機器や家電の非常用電源としても活用可能な全国初の設備です。

これらの双方の取組みに賛同し、本協定が締結される運びとなりました。

### 連携協定の概要

両社の協定では、災害が発生した際には熊本銀行の本支店駐車場に、未来樹がBMEを無償で貸与・設置します。BMEを近隣住民が非常用電源として使用できるほか、近隣住民や事業者が所有する電気自動車や充電し、所有者が自宅等で電気自動車を非常用電源として使用できる体制を整えます。

また、平常時には防災訓練日



移動式急速EV充電機「BME」の前で記念撮影  
左から、未来樹 新永取締役、北岡常務(熊本銀行)

### 〈移動式急速EV充電機を活用したカーボンニュートラル、災害時復旧支援のイメージ図〉

カーボンニュートラルの仕組み  
(油田プロジェクト)

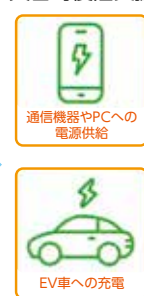


BDF使用



給電

災害時復旧支援



を設けて定期訓練を行い、災害時のBME活用と環境・防災意識の向上を目指します。  
熊本銀行は今後も取組みを継続し、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。